



## 2017年度JCFN 日本冬季特別献金のお願い

2017年11月恵日

主の御名を賛美いたします。

今年も、皆様より賜りましたお祈り、また様々な形でのご支援に心より感謝申し上げます。現在、JCFN 北米では年末の Equipper Conference へ最後の準備で忙しく、また、並行して JCFN 日本では来年5月開催の GRC18 : Global Returnees Conference に向けて色々準備を進めております。甚だ微力ですが、これからも帰国者のニーズに応じて主の働きの広がりにつなげていければと願ってやみません。この度の冬季特別献金もまた JCFN の活動の環境が整えられるよう、加えて、今回は特に、GRC18 の奨学金基金が与えられることを願ひ祈っております。

裏面は帰国者のお証です。このような方々のフォローアップのためにも持続的な活動が大切だと思っています。ぜひ、冬季特別献金にご協力いただければ誠に幸甚に存じます。

### ▶▶▶ 日本事務所運営費として ▶▶▶ 目標額：日本事務所運営費 50 万円

ミニストリーが滞りなく進められるために事務体制が安定することがとても重要です。御茶ノ水に事務所を構えることで帰国者が気軽に立ち寄ることができる環境にあり、また、事務員も一名働いています。ぜひ、そのような事務所運営のためにお献げください。

### ▶▶▶ 主事冬季特別手当のために ▶▶▶ 目標額：主事冬季特別手当 50 万円

現在、日米にフルタイム・パートタイムを合わせ4名の主事で働きを進めています。各自支援者を募り、尊い献金により毎月の給与が支給されています。月々の給与とは別に、主事に冬季特別手当を支給できるように願っています。主事の生計面での必要を覚え、お献げいただければ幸いです。

### ▶▶▶ GRC18 奨学金基金のために ▶▶▶ 目標額：GRC18 奨学金基金 50 万円

来年5月に開催する GRC : Global Returnees Conference18 のための準備が進められています。経済的な理由で参加を断念する人がいないように奨学金を支給したいと願っています。GRC18 開催と奨学金基金のために、お献げください。

受付期間：2018年1月31日(水)まで

### ◎冬季特別献金の送り先◎

- (1) 郵便振替 加入者名：JCFN 00100-8-565348 もしくは、同封の振替用紙をご利用ください。
- (2) みずほ銀行 九段支店(532) 口座番号 1161342 口座名 JCFN 代表 後藤満喜 [JCFN ダイヤモンドウキ]
- (3) クレジットカード (US ドル建) [www.jcfn.org/donation](http://www.jcfn.org/donation) 「その他、特別献金」より、お献げください。

\*いずれの方法も、メモ欄に「JWF」とご明記ください。

\*指定先【運営費・主事手当(主事指定の場合は主事名)・GRC18】があればご明記ください。

主の豊かな祝福がありますように

理事長 米内宏明  
日本代表主事 岡田千尋

【夏季特別献金の感謝報告】目標額 100 万円の 8.6%、86,302 円が献げられました。ご協力感謝致します。

～放蕩娘の帰還:共にいてくださる祝福～

小田恭子

神様は全ての経験を益としてどんな時でも共にいてくださる方です。その事がわかるようになったのは教会、JCFN のスモールグループ(吉祥寺 SG)、GiFT(Growing in Fellowship Tokyo)で出会った人達との交わり、そしてどんな時でも私を離さずに共にいてくださるイエス様の愛と憐れみです。

私は教会に通うようになって 1 年が過ぎました。この 1 年間は私にとって奇跡であり本当に神様が導いてくださっているのだと強く感じます。なぜ、そのように思うのかというと、私は今通っている教会に行くようになるまで約 7 年間、教会、クリスチャンのつながり、神様から離れていました。

私が神様と出会い、イエス様を受け入れたのは 8 年前に留学した先であるシアトルでした。私は信仰を持ち始めた時、洗礼を受けるときに両親から反対されました。私にとって家族は大事な人たちだったので留学から日本に帰国したときにしっかりと自分の言葉でイエス様の愛を伝えて理解してもらってから洗礼を受けようと考えていました。

しかし、日本から帰国した時に自分が思い描いていた道とは違っていました。帰国したばかりの時には両親に自分がクリスチャンになったこと、そしていつかは洗礼を受けたいという事を話しました。両親は私のことを理解してくれ、洗礼は就職先を決めた時、無事に学校を卒業した時に受けても良いという言葉をもらいました。私は洗礼を受ける為に就職活動を頑張りましたが、その道は閉ざされてしまいました。

帰国する前にはどんな状況でも自分は大丈夫と確信していましたが、帰国した時に千葉で通っていた教会に馴染めないことや、一緒に帰国した友達との信仰の歩みの違い、実際は思い描いていた道とは違ってしまったことへのギャップなどで自分の状況に耐えられなくなりました。辛い思いをするぐらいなら神様から離れたいと考えるようになり徐々に教会から離れていき、神様を疑うようになり洗礼を受けたいという思いも薄れていきました。

卒業してから半年後にホテルの仕事が決まり私は熱海に引っ越しました。土日が休みではないことに対して友人は教会に行けなくなることや、さらに神様から離れてしまうことを心配してくれましたが、その時の私は自分がイエス様を忘れずに心の中で礼拝すればそこは教会であり大丈夫と思っていました。その考えは大きな間違えでした。あの時の私は口では神様を礼拝していると言いながらも本当は何も見えていなかったのです。そんな聖書や教会ではなく自分の考え方で過ごしていたので様々な試練がありました。仕事での人間関係、神様から離れてしまっていることへの罪悪感、何よりも常に私の心は飢え乾いた状態でした。そんな状態が苦しくて神様から離れたいという葛藤を覚えながらも本当は神様の元に帰りたいと心で叫び続けていました。

熱海から軽井沢に異動して仕事が自分の全てになってしまった時、業務に疲れ、人間関係も悪くなりました。そんな自分中心に生きていた私に残っていたのはどんな時でも見放さず、どんな自分でも受け入れてくれる神様の愛でした。自分一人で礼拝していても神様の愛はわかりません。イエス様に会える場所、神の家族と共に主を見上げることが出来る場所、何よりも神様の愛を身近に感じる場所は教会以外ないのです。全てを失った私に残された希望はもう一度神様のことを一番に求め、教会につながるのだと思い、仕事を辞めました。しかし、すべてのつながりから離れていた私には、教会に行くことは難しいことでした。そんな時、一緒に留学した友人が連絡をくれて教会に行くことができました。

初めて行った日の賛美、メッセージ、そして知らない私を温かく迎え入れてくれた教会の人達。全てを通して私は神様の赦しと愛を感じ、飢え乾いていた心が満ち足り、教会に通うことを決めました。教会に通い、イエス様を一番に求めて主と歩む、その中には神様によって出会った大切な人たちとの交わり、何より私の中にいるイエス様がどんな時も励まし支え導いてくれる恵みと感謝を教えてくださいました。神様から離れているとき、教会や洗礼、交わりは必要無いと考えていた私の心を溶かし、もう一度、神様の愛、人との交わり、聖書の言葉がどんなに大切であり私が生きていく中で必要なものであるのかを教えてくださいましたのもイエス様です。

私は現在、吉祥寺 SG に参加しています。毎週木曜日に吉祥寺のカフェで集まり友人たちと共に聖書を学んでいます。自分一人では難しく諦めてしまう箇所でも共に学ぶことで理解できること。何よりも励まし合い、同じ御言葉に触れることで神様の愛を共感できることの恵みは計り知れません。教会だけではなく、スモールグループを通してクリスチャンの繋がりが広がることは神様の恵みだと思います。そして今、私は帰国者クリスチャンとして自分の経験を神様が用いてくださるように、同じ帰国者を励ます者として仕える事ができるように日々祈っています。

神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、  
神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。(ローマ 8:28)